おかもり通信 2025年 夏号 vol.9

NEW リニューアル号

2025年度　おかもりファミリークラブ



第1回目　開催しました！

今号のトピックス

1　おかもりファミリークラブ　第1回目の開催の様子をご紹介

2　活動団体「里山ミニの会」　代表：青木健司さんにインタビュー

スタッフリレー



テレビ出演の様子
「CBC 花咲かタイムズ」

おかざき自然体験の森スタッフがリレー形式で登場します！

統括責任者の若杉です。

私は「笑顔あふれる施設づくり」を目指しています。
お客様が楽しんでもらうためにはスタッフ自身がワクワクすることが必要！
スタッフの意見を尊重し、それぞれの得意分野を活かして業務にあたってもらっています。

これからもこのチームで団結して、お客様の笑顔を増やしていきたいと思っています。

おかもりファミリークラブ
第1回目の開催の様子をご紹介

3年目を迎えたおかもりファミリークラブ、2025年度が始まりました。
第1回目は**「植物とふれあおう」**。
開催したレポートをお届けします！

はじめましてからスタート





まずは、これから一緒に過ごすメンバーやスタッフのことを知りあうことから。
「はじめまして」というアクティビティから始めます。

二人ペアになってお互いに質問し合って、相手のことを教えてもらいます。

メインプログラム「植物標本作り」に挑戦

植物採集からスタート







植物標本作りは、植物採集から。（場内の植物の採取は承認が必要になります）
今回はこの時期多く見られる**ドクダミとハルジオンを採集**しました。

いよいよ標本作りへ

採集後、次のような工程で行いました。

1



採集した植物の根についている土を水で洗い丁寧に落とし、水分を拭き取る

2



材料をそれぞれ新聞に挟む

3



段ボールを台紙にし、その上に重石の代わりとなる図鑑をのせる

最後に、ラベルを記入。植物名、採集日、場所等を記録します。
この後は各自個々に新聞を取り換え、植物を乾燥させ完成させる工程を自宅で取り組んでもらいます。

次回のクラブで披露会をしたいと思います！

メンバーの感想

- 植物一つで子どもたちが楽しんでくれたことが驚きだった
- ドクダミの根っこが長いのがびっくりした
- ハルジオンとヒメジョンの違いが分かり勉強になった
- 花のことをもっと大事にしようと思った

ふりかえり





今日体験したことのふりかえりです。それぞれ感じたことを共有してもらいました。

まずはグループで、そのあとみんなで輪になって、どんな意見も黙って聴くことがクラブの約束です。
初回にもかかわらず、みんなじっくり耳を傾け、話しやすい雰囲気になっていました。
大人も子どももいろいろな気持ちを話してくれました。

メンバーの感想

- 道端に咲いている花も摘んでみようと思う
- 植物園に行って勉強したいと思う
- 草花をもっと知ってみようと思った

草花遊び



予定していたピクニックですが、天候により管理棟内でのランチタイムに変更しました。
その代わりに講師の河江さんが草花遊びの材料を用意してくださいました。

手裏剣と草笛の作り方を教えてもらい、みんな真剣になって取り組んでいました。

メンバーの感想

- 1枚の葉っぱであんなに遊べるんだと知った
- 竹笛の作り方を知れてよかった
- 手裏剣作りが楽しかった

自由交流「ロープワーク」



毎回プログラム後は自由交流の時間です。
メンバー、スタッフで楽しく過ごす場を設けています。

今回はロープワークです。
山岳救助でヘリコプターで救助されることをイメージした体験です。
ロープの使い方を習って、腰にしっかりロープを巻いていきます。
そのロープに引っ掛けて、ユニック車で引き揚げられます。
体が持ち上げられた時のみんなの笑顔！ステキでした。

次回

8月開催「生きものとふれあおう」で「鱗粉転写」を体験します！

活動団体「里山ミニの会」　インタビュー



代表：青木健司（あおき けんじ）さん

2024年4月から体験の森で活動を開始した「里山ミニの会」
代表の青木健司さんに活動等について、お話を伺いました。

「里山ミニの会」の活動が始まった経緯について教えてください

自然体験の森の職員との話の中で、既存のボランティアグループの高齢化や自身の里山への考え方を共有し、新しいボランティアグループを作って活動してみては？と提案があった事がきっかけでスタートしました。



活動の目的や目指すことはありますか

里山を「自然から利益を得ながらその利益により維持管理出来る事」と考えています。
楽しい事により人が集まり、活動費は自分たちで稼ぐ。
最終的には支援が無くても自分たちだけで活動できる団体を目指しています。



どんな活動をしていますか

活動場所作り ／ 腐葉土作り ／ 間伐 ／ 間伐材の加工 ／ キノコの原木栽培
植林する為の苗作り ／ 竹を加工して竹飯盒を使ったバーベキュー等です

メンバー構成を教えてください



小学生から年配の方まで幅広い年齢層です。
基本的に自然が好きな人で構成されています。

今後の展望を教えてください



今後考えている事は日本ミツバチの養蜂、間伐材で工作、
お茶の木の苗が成長すればお茶を作ったりします。

活動に興味がある場合、一緒に参加できますか？

もちろん参加出来ます。メンバー大募集中です。提案、協力者等も募集しています。

畑をやっているので腐葉土が出来たら買えない？とか、この環境なら〇〇やると良いよ。などの提案や、キノコの原木栽培なら教えに行ってあげるよ～という方も大歓迎です。気軽に覗きに来てください。

スタッフ雑記

2023年に創刊したおかもり通信の内容を充実させ、リニューアルしました！
施設で行っていることをより詳しく、お伝えしていきたいと思っております。
幅広い層の方が「おかざき自然体験の森」に興味を持っていただき、足を運んでいただけるよう、
引き続きスタッフ一同取り組んでいきます！　（ねっこ）

おかざき自然体験の森
☎0564-45-5544
（受付時間　9：00～17：00）
住所：愛知県岡崎市八ツ木町池ノ上10番地
https://okazaki-kanko.jp/mizutomidori/shizen-taiken
E-mail:okazaki-fone@conyx.co.jp
OKAZAKIFONE
Facebook

おかもり通信 2025年 秋号 vol.10

おかもりファミリークラブ 第２回目



テーマは「生きものとふれあおう」
～蝶の鱗粉転写をしてみよう～

今号のトピックス

1　おかもりファミリークラブ　第2回目の開催の様子をご紹介

2　市民活動団体「炭焼きの会」のみなさんに「森のこだま」についてインタビュー

スタッフリレー



おかざき自然体験の森スタッフがリレー形式で登場します！

運営責任者の竹内です。

おかざき自然体験の森では、スタッフはそれぞれフィールドネームをつけています。
僕は“アンクル”と呼ばれています。
自然に興味を持っていただき、「体験の森に行こう！」と思ってもらえるよう、
スタッフ一同取り組んでいきたいと思います。

おかもりファミリークラブ
第2回目の開催の様子をご紹介

おかもりファミリークラブとは？

おかざき自然体験の森のフィールドで、**直接体験を通じてメンバー同士の相互作用の中で学び合い、 自ら考え行動することを目指すクラブです。**

2025年度第2回おかもりファミリークラブ実施しました！
第2回目は「生きものとふれあおう」。開催したレポートをお届けします！

この日2025年8月31日（日）は、二十四節気「処暑」が過ぎても暑さが収まらず、猛暑日になりました。

前回の6月から季節はすっかり春から夏へ。
メンバーは、その変化を観察しながら駐車場から管理棟まで来てくれました。

メンバーの感想

- 1回目で見られたハルジオン、ヒメジョオン、タンポポがなくなった
- ビオトープの水が干上がっていた
- ウシガエルの声が聞こえなくなったのはどうしてかと思った
- 草のにおいがした

植物標本披露会




第1回プログラムで製作した植物標本を持参してもらい、披露会をしました。
それぞれの好きなスタイルで完成させた標本は、同じものは一つもなく、たった一つのオリジナル作品ですね。
プログラム以外でも植物を採集して、標本にしてきてくれた子もいました。

おかもり旗掲揚です




おかもりソングを歌いながらおかもりの旗を掲揚しました。
クラブのオリジナルソング覚えてくれたかな？
みんなで歌って、旗を揚げ、今日のプログラム開始です！

プログラム「鱗粉転写」スタート

第2回のテーマは「生きものとふれあおう」。今回は鱗粉（りんぷん）転写をします。
鱗粉転写はチョウのはねについている鱗粉を紙に写し取って保存する方法で標本の一種です。

講師は、ビオトープ・ネットワーク中部副会長の宇野さんです。
今回は宇野さんが準備してくださったツマグロヒョウモンを標本にします。
そのチョウはとてもきれいで、それだけで感動しちゃいますね。

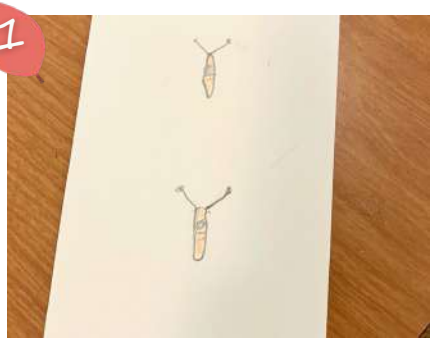


講師
ビオトープ・ネットワーク中部
副会長　宇野さん

いよいよ鱗粉転写へ

鱗粉転写は以下の手順で行いました。

1



標本にする紙にチョウの胴体を描いておきます。

2



紙にロウを塗ります。

3



チョウのはねを切って2の紙に並べます。

4



紙を折って上からこすります。

5



紙を広げ、鱗粉を写し取ったはねをとります。

6



描いておいた胴体に合わせてはねを紙にはります。

できあがり！
子どもたちは真剣そのもので、完成するまで熱中して取り組んでいました。
チョウの鱗粉をこんなにもきれいに残せるんですね。

メンバーの感想

- 鱗粉転写は2回目だったが、今回のほうがうまくできた
- チョウの腹を初めて持ったことが心に残った
- チョウのはねを取ったらアブのように見えた
- チョウの羽を取ったら口が見えた
- チョウの胴を持って動けなくすることを知った
- 生きている時は見えない部分も、標本にすることで観察できた

自由交流「葉っぱボートレース」



毎回プログラム後は自由交流の時間です。
メンバー、スタッフで楽しく過ごす場を設けています。

今回は「葉っぱボートレース」をしました。

前日に行った流しそうめん体験で使った竹のレーンを使ってタイムレースです。
葉っぱで自分のボートを作り、試走して、より速く進むように工夫します。

猛暑の中、汗をかきながら、大人も子どもも熱中してボート作りをしていました。
レース中、ボートをレーンの横から見守りながら一緒に進んでいく姿が印象的でした

次回

11月30日（日）「森とふれあおう」 第3回目は森に入ってたくさんの不思議を見れたらと思います。お楽しみに！

市民活動団体「炭焼きの会」インタビュー

市民活動団体「炭焼きの会」のみなさんに
体験教室「森のこだま」について教えていただきました！

「森のこだま」は、どんな思いで活動されていますか？



炭焼きの会は『伝統的な炭焼きを保持　継承したい』の思いで活動しています。その入口になればとの思いで「森のこだま」として体験教室を行っています。

今年度開催のイベントで人気があったものについて、イベント内容をご紹介いただけますか。

竹飯ランチ

青竹を加工して飯盒(竹のお釜)を作りご飯を炊きます。その間にお皿や箸を作ります。
青空の下で美味しいランチです♪

焚火と薪割体験

街中では焚火は難しいですね。丸太を割って薪を作り、小枝の火から徐々に太い枝火にして薪火にします。燃える炎に暫し見惚れますよ。

イベントに参加された方の様子はいかがですか？



初めは戸惑いながら、そして夢中になって楽しまれます。

今後のイベントでおすすめのものはありますか？

椎茸の菌打ちは人気ですね。
12月の門松作り、1月の凧を作り、凧揚げもおススメです。



最近は新しいメンバーが加入されたそうですね。

はい、若い世代の人が加入してくれました。その繋がりで炭焼き仲間の輪が広がれば良いですね。

また今後の展望を教えていただけますか。

炭焼きによる煙と臭いを消す研究を進めて、将来的には体験の森での炭焼きを市民と一緒に行いたい。

炭焼きの会、森のこだまに興味がある場合、一緒に参加できますか。

どなたでも参加下さい、歓迎します。

活動日と活動内容を教えてください。

活動は毎週土曜日の9時から15時体験の森にて。月に一度『体験教室』を開きます。
2ヶ月～3ヶ月に一度は、炭焼きの炭材、炭を焼く薪を揃えて、外部の炭窯を借りて炭焼きをします。

皆さんと一緒に活動できる日を楽しみお待ちしています☆

おかざき自然体験の森
☎0564-45-5544
（受付時間　9：00～17：00）
住所：愛知県岡崎市八ツ木町池ノ上10番地
https://okazaki-kanko.jp/mizutomidori/shizen-taiken
E-mail:okazaki-fone@conyx.co.jp
OKAZAKIFONE
Facebook

おかもり通信

2025年 冬号 vol.11



おかもりファミリークラブ 第３回目

テーマは「森とふれあおう」

今号のトピックス

1　おかもりファミリークラブ　第３回目の開催の様子をご紹介

2　「愛知植物の会」の河江喜久代さんに「植物観察会」についてインタビュー

スタッフリレー



おかざき自然体験の森スタッフがリレー形式で登場します！

環境学習担当の岡田康です。
フィールドネームは自称森の発明家「キテレツ」です。
特定外来生物の駆除、希少生物の保護も担当しています。
今いる生き物がこれからもずっといられるよう、その取り組みをみなさんにお伝えしていくことが役目だと思っています。

まだまだ、知識不足ですが、管理棟で是非声をかけてください。

おかもりファミリークラブ
第３回目の開催の様子をご紹介

おかもりファミリークラブとは？

おかざき自然体験の森のフィールドで、**直接体験を通じてメンバー同士の相互作用の中で学び合い、 自ら考え行動することを目指すクラブです。**

2025年度第３回おかもりファミリークラブ実施しました！
第３回目は「森とふれあおう」。開催したレポートをお届けします！

自然観察からスタート

駐車場から管理棟まで各自で自然観察からスタートです。
季節の変化を感じてもらい、みんなで共有します。前回の夏から冬にすっかり季節が変化しましたね。



その後、オリジナルソングを歌いながらクラブ旗を掲揚してプログラムに入ります。楽器を持参して、演奏に加わってくれた子もいました。
みんなで演奏して歌って、気持ちを一つにして今日のプログラムへ！

プログラム「ひのきのぼう作り」







講師
「里山ミニの会」リーダー
青木健司さん

第3回のプログラムの講師は、「里山ミニの会」リーダー青木健司さんです。

今回のプログラムの1つは、「ひのきのぼう」作り。

伐採してあるヒノキの中から自分の好きなものを選んで、かなづちで皮をたたいていきます。
そうすると手で皮がはがせる状態になります。はがしていくと、木の樹皮が見えてきました。
皮が全部めくれたら「ひのきのぼう」の完成！

皮むきをやりだすと、みんな夢中になり、真剣なまなざしで取り組んでいました。
子どもも大人も熱中している姿が印象的でした。

メンバーの感想
木を叩く加減が難しかったけど、むけるときはきれいにむけて楽しかった

プログラム「腐葉土観察と移動」







昨年度の第3回で落ち葉などを集めておいたものが1年かけてどんな状態になっているかを観察します。

昨年木で囲った場所いっぱいに入れた落ち葉は3分の1くらいまでに体積が減り、腐葉土が出来上がっていました。
掘り起こすと中はふわふわの土。
出来上がった腐葉土は、活用するために違う場所へ移しました。



そしてなんと腐葉土の中にはカブトムシの幼虫がたくさんいました！
大喜びの子どもたちは、腐葉土のことよりも幼虫探しに夢中になる子も。
こんなにたくさんいるなんて想像しませんでした。自然の力ってすごいですね。

メンバーの感想

カブトムシの幼虫の近くに穴が開いてあった

来年出てくるのが楽しみ

プログラム「腐葉土材料集め」







来年に向けて腐葉土の材料集めもしました。
新たに作られた囲いの中に落ち葉を集めていきます。
この時期、施設内には落葉した葉っぱがたくさんあります。それを集めて腐葉土を作ります。

自然の資源を活用して循環させていくこと。こちらの施設ではそんなことを目指しています。
今年もたくさんの落ち葉が集まりました。これが来年にどのように変化するか楽しみですね！

今日のふりかえり







最後はふりかえりの時間です。

それぞれ感じたことを言葉にして、みんなに共有してもらいます。
どんな意見も黙って聴くことがクラブのルールです。

メンバーの感想

どの作業も子どもたちが全力で取り組んでいていい経験ができた

自分でも腐葉土を作ってみたい！という人が何人もいました。
クラブの活動をきっかけに「自分でやってみる」。
仲間と一緒にやったからこそ、そんな広がりができるのかもしれません。

第3回の自由交流は「森のモルック」



プログラム後は自由交流の時間です。
今回は「森のモルック」。
モルックはフィンランドで開発されたスポーツです。

大人はハンディをつけて、個人戦です。
このクラブは家族の枠を超えて子どもと大人が交流しています。
全体が家族のような温かい雰囲気になっています。

今日も楽しかったね！

次回

最終回、2月開催の「木とふれあおう」 最後をみんなで楽しみたいと思います！

「愛知植物の会」河江喜久代さん　インタビュー

毎月おかざき自然体験の森のフィールドで植物観察会を開催してくださっている「愛知植物の会」河江喜久代さんに会のこと、イベントのことをお聞きしました。



「愛知植物の会」
河江喜久代さん

「植物観察会」を開催するようになってどのくらい経ちますか？

はっきり覚えていないのですが、15年以上になると思います。

どんな思いで活動されていますか？

自然に親しんで楽しく森を歩いて欲しい。また来たいと思ってもらえると嬉しいです。

植物観察会の楽しさはどんなことだとお考えですか？

植物の名前を一つ一つ覚えてもよいですし、同じコースを歩いても毎回新しい発見があります。

12月は特別編で管理棟内で「ケーキ作り」でした。どんな内容ですか？

ケーキといっても食べられない「かざるケーキ」を作りました。
カラマツ、ムクロジ、センダンノキ、ヒノキ、クルミ、チャの実、
ノイバラ、ワタ、ヒイラギ、チガヤ他いろいろで飾りつけました。







他にも観察会以外の内容のイベントがありますよね。内容を教えてください。

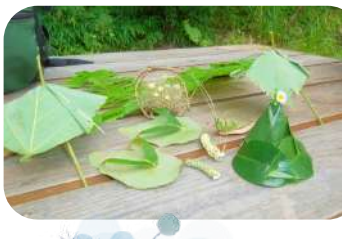
植物を使って遊ぶウラジロのグライダー、クズのつるでなわとびなど。
食べられる植物を観察して食べてみることもしています。

イベントに参加された方の様子で印象に残っていることはありますか。またお聞きした感想などあれば教えてください。

つまらなそうに歩いていた子どもさんが葉っぱの笛を教えたら最後まで楽しそうに吹いてご機嫌でした。
何回目かに参加された方が草の名前を覚えたら、畑の草取りが楽しくなったと言っていました。

読者の方へメッセージをお願いいたします。

今はスピードが求められることが多く、何でも便利に調べられます。
でも見て触って、におって、体験することがとてもたいせつだと思います。
ゆったり楽しく体験の森を歩きましょう。



おかざき自然体験の森
☎0564-45-5544
（受付時間　9：00～17：00）
住所：愛知県岡崎市八ツ木町池ノ上10番地
https://okazaki-kanko.jp/mizutomidori/shizen-taiken
E-mail:okazaki-fone@conyx.co.jp
OKAZAKIFONE
Facebook

おかもり通信 2026年 春号 vol.12

おかもりファミリークラブ 第4回目



テーマは「木とふれあおう」
～薪割り体験 & 森のバウムクーヘン作り～

今号のトピックス

1　おかもりファミリークラブ　第4回目の開催の様子をご紹介

2　市民活動団体「森の畑倶楽部　大豆でe-co」代表、太田由美子さんにインタビュー

スタッフリレー



おかざき自然体験の森スタッフがリレー形式で登場します！

イベント担当の榎本です。フィールドネームは「えのちゃん」。

主に「四季のまつり」の凧揚げ、竹とんぼづくり、水鉄砲づくり、流しそうめん等イベントを担当しています。
体験の森で工作大会や昔ながらの農業体験などを通じ、
すばらしい自然に触れてくださいね。

おかもりファミリークラブ
第4回目の開催の様子をご紹介

おかもりファミリークラブとは？

おかざき自然体験の森のフィールドで、**直接体験を通じてメンバー同士の相互作用の中で学び合い、 自ら考え行動することを目指すクラブです。**

2025年度第4回おかもりファミリークラブ実施しました！
第4回目は「木とふれあおう」。開催したレポートをお届けします！

駐車場から管理棟までの自然観察からスタートです




第2回目から4回目は、駐車場から活動スタートです。
各家族で駐車場から管理棟までの道のりを自然観察します。

連続参加のクラブだからこそ、動植物の様子の変化を感じることができます。

おかもり旗を掲揚した後、メインプログラムへ！




クラブオリジナルソングを歌いながら、クラブ旗の掲揚です。
楽器を持参して演奏してくれる子もいて、心地よい音色が聞こえてきました。
さあ、今日のクラブもめいっぱい楽しもう！

プログラム「薪割り体験」





第4回目のプログラムテーマは「木とふれあおう」です。
体験の森内で伐採したスギを使って、薪割り体験をしました。薪割り器に木をセットして、ハンマーで木を叩いて割ります。力の入れ方、たたく場所、ハンマーの持ち方など、コツを教えてもらって挑戦！

全員割れるまで真剣な表情で取り組む姿はステキでした。

メンバーの感想

- 力の入れ方などコツがいることがわかった
- 昨年やった時より早く薪が割れた
- 割れた時は嬉しかった

「森のクッキング」でバームクーヘン作り





もう一つのプログラムは、体験の森の材を利用して、クッキングに挑戦です。
今回はバームクーヘン作りです。

バームクーヘンの生地を巻き付ける芯には、竹林整備で伐採した竹を、
生地を焼く燃料には、里山整備で伐採した木を使ってできた木炭を使いました。

何層にも重なっているバームクーヘンが完成するのに、こんなに手間がかかるのですね。

何度も繰り返し層を重ねて、やっと完成





バームクーヘンの生地が焦げないようにじっくり火で焼いていく工程は、時間がかかります。

炭から伝わる熱の温度、火元からでる煙を体感しながらの作業は、想像以上に大変でしたね。
それでもいいにおいがして来て、だんだんおいしそうになっていく過程があり、出来上がりまで根気よく取り組みました。

メンバーの感想

- 火が飛んだり大変だったけど、作れてよかった
- みんなと一緒にやっていくなかでよい工夫を共有できることがよかった

ふりかえりの時間です




最後に今日の活動と全4回についてふりかえり、共有する時間を持ちました。
全4回で心地よく、気持ちのよい雰囲気のクラブになったと感じています。

家族の枠を超えて、交流している様子が嬉しかったです。
みんながステキなクラブを作ってくれました！

また体験の森に遊びに来てくださいね！いつでも待っています♪

メンバーの感想

- 楽しかった！いつ行っても楽しい！
- 仲間と関わり発言をする息子を見て成長を感じ、嬉しく思いました。
- 自然の中で新しい体験ができて楽しかった。
- 毎回、興味深いテーマで息子以上に私も楽しみにしていました。

市民活動団体「森の畑倶楽部　大豆でe-co」インタビュー

毎月活動している「森の畑倶楽部　大豆でe-co」代表　太田由美子さんにイベントのことをお聞きしました



代表：太田由美子さん

設立から20年経過されていますが、これまで長年継続されてきた中で感じられることはどんなことですか。

スマホなどの普及により疑問に思ったことは直ぐに調べられるようになりました。
その反面、どうしてだろう？どうなっているのかな？よく見て考えてみよう…
といった時間が少なくなってきているように思います。

どんな思いで活動されていますか？



土に触れる活動も調理する食材も、よく見て、耳を澄まして、全身で触って、匂いをかいで、時に食す。
センス・オブ・ワンダーの感性を育くむことを意識しています。
参加者の自然体験の原風景の一部になれたら嬉しいですね♫

毎回イベントは畑の活動と室内の活動がありますね。それぞれどんなことを体験できますか。

活動時間は9:30〜12:00です。前半は森の畑で種まき・草取り・収穫・生きもの観察などです。
鍬や足踏み式脱穀機など普段目にしない本物の道具・機械も体験します。

後半は昨年仕込んだ味噌や大豆を使った献立の調理試食です。日本食文化の継承や、すり鉢・すりこ木など昔からの道具も使います。

2月は毎年人気のある「味噌仕込み」でした。内容と開催された様子で印象的だったことを教えていただけますか。

茹でた大豆を手で潰したり、豆麹・米こうじの匂いを嗅いで触って虫眼鏡で見てから仕込みをしました。
「常滑焼のかめを使う理由に興味をもった」「普段食べている味噌の原材料を知ることができた」「家では食べない味噌汁を沢山食べた」などの声が聞かれました。

今後の活動で計画していること、やってみたいことはありますか。

栽培するものや調理の材料・手法に目新しいものを取り入れてみたいです。

読者の方へメッセージをお願いいたします。



森の木々が出す空気や鳥のさえずりの中で一緒にわくわくの体験をしましょう！
化学肥料や除草剤を使わないので体にも生きものにも地球にも安全安心です♪

おかざき自然体験の森
☎0564-45-5544
（受付時間　9：00〜17：00）
住所：愛知県岡崎市八ツ木町池ノ上10番地
https://okazaki-kanko.jp/mizutomidori/shizen-taiken
E-mail:okazaki-fone@conyx.co.jp
OKAZAKIFONE
Facebook